

## 令和3年度第7回 浜松市障がい者自立支援協議会企画会議会議録

1 開催日時 令和4年3月3日（木） 午前10時00分～11時25分

2 開催方法 Zoomによるオンライン開催

### 3 出席状況

エリア連絡会名	所属	出席者氏名
中エリア連絡会	中障がい者相談支援センター	藤川 晴海
	中区社会福祉課	飯塚 康敬
東エリア連絡会	東障がい者相談支援センター	平野 明臣
	東区社会福祉課	久野 加津夫
西・南エリア連絡会	西・南障がい者相談支援センター	後藤 翔一朗
	西区社会福祉課	宮本 明浩
	南区社会福祉課	内藤 淳
北エリア連絡会	北障がい者相談支援センター	本宮 早奈映
	北区社会福祉課	梶田 和彦
浜北・天竜エリア連絡会	浜北・天竜障がい者相談支援センター	今田 将晴
	浜北区社会福祉課	島田 佐栄実
	天竜区社会福祉課	内山 敦子
	相談支援事業所シグナル	尾関 ゆかり
		阿部 祥美
事務局	障がい者基幹相談支援センター	雨宮 寛
		山下 由佳
		玉澤 卓也
		岸 直樹
		永田 貴裕
障害保健福祉課	生活・就労支援グループ	柴田 多美子
		山内 愛美

#### 4 議事内容

- (1) 専門部会について  
地域生活部会 こどもワーキング
- (2) 日中サービス支援型グループホームの評価について
- (3) エリア連絡会につながった個別支援会議について
- (4) 令和4年度スケジュールについて

5 会議録作成者 障害保健福祉課生活・就労支援グループ 山内

6 記録の方法 発言者の要点記録  
録音の有無 無

#### 7 会議記録

- (1) 専門部会について  
事務局より、資料を元に新規ワーキングについて提案
- <意見>
- ・児童相談所が関わっている虐待ケースの対応だけでなく、児童相談所が関わっていない要対協ケースについても課題を感じている。
  - ・虐待や不適切な養育に焦点を当てるのであれば、入所施設にも参画してもらえると良いのではないかと。施設入所ケースは、地域移行にあたりサービス調整が非常に大変となる。
  - ・18歳になったからすぐに成人のサービス、虐待防止法へ移行するのではなく、その前段階からの支援の組み立てが必要。
  - ・児童相談所がどういった支援をしていて、それをどう共有して引き継いでいるのか。児童相談所の支援について障害分野としてどのようなアプローチが考えられるのか。
  - ・高校生年齢で困り感が出てくるケースが多く、どのように次につないでいくかが課題。  
(事務局より) ケースによって情報共有等の対応が違う現状があることから、仕組み作りと児童相談所とどのように関わっていくかを知るために、児童相談所から話を聴くところから始めてはどうか。
  - ・過去、児童相談所と福祉分野が、児童相談所が関わっている18歳を迎えるケース(入所、虐待)の情報共有をする会議体があった。入所ケースを主として開催していたことから、児童相談所と入所施設の話し合いへと移行していった。児童相談所との情報共有ができる仕組みがあると良い。
  - ・18歳になり、児童相談所から委託相談へつなぐれ、委託相談だけで抱え込んでいるケースがある。ケースによっては虐待ケースとして捉えられていないものもある。
  - ・虐待防止法による新しい体制整備ができたことで、児童相談所から18歳になった途端

通常ケースの扱いになってしまい、いつの間にか委託相談が抱え込まざるをえない。そこから新たに虐待ケースとして管理されておらず、支援に関して一から組み立て直しになることが課題。

- ・虐待ケース等の養護性が高いケースは、次の受け手、管理者が必要。

<今後の方向性>

- ・今回出た意見を元に事務局で検討内容やメンバーを調整し、4月からワーキングを開始する。

## (2) 日中サービス支援型グループホームの評価について

事務局より、来年度以降の運用について資料を元に説明

<意見>

- ・意見交換の構成員は、エリア連絡会構成員で良いか。

→ (事務局) そのとおり。

- ・意見交換については、実績ベースで話をするのか、現状について話をするものなのかわかりにくい。現場でおきているタイムリーな案件も扱ってよいのか。

→ (事務局) 事業所には前年度に関する報告書の作成を依頼する。現状とは違うことはありえるため、現状を含めて話をしてもらえばよい。

- ・エリア連絡会へのフィードバックは、どのような範囲で行えば良いか。

→ (事務局) エリア連絡会の実情に合わせて対応をお願いしたい。

## (3) エリア連絡会につながった個別支援会議について

### ○中エリア

・エリア連絡会へつながったケースの課題から、エリア連絡会としてネットワーク作りが必要と判断し、ネットワークづくりの会議を開催した。

### ○東エリア

・個別支援会議を通じて3件の課題を取り扱っている。困難事例ではあるが、解決のきっかけが見えてきそうなものをエリア連絡会として取り組んでいる。

### ○西・南エリア

・家族の体調不良により必要な支援が受けられなくなったケースについて計画相談より相談があったケースがあり、エリア連絡会相談支援部会において共同支援会議のデモを開催した。

### ○北エリア

・障がい児者の強度行動障害のケースを元に、支援の課題についてワーキングで取り扱っていく予定。

- ・計画相談からあがってくるケースが多いと感じる。

### ○浜北・天竜エリア

- 共生型ショートステイへの対応について、取り扱ったケースだけでなく、地域課題として他にも対象ケースがないかの現状把握調査等の取り組みを続けている。

(4) 令和4年度スケジュールについて

事務局より資料を元に令和4年度スケジュールについて説明

次回企画会議：5月26日（木）午前10時～ 32会議室